

山城北地域保健医療計画の見直しの視点について（案）

■ 5 疾病・5 事業

（1）小児医療

➢ 地域の中核病院と開業医等が連携して役割分担を行うなど協力体制の強化

（2）災害医療

➢ 災害時の関係機関間での情報共有のための取組推進

➢ 保健所を中心とした地域における災害医療コーディネート体制等の充実

（3）急性心筋梗塞

➢ 対象を慢性心不全まで拡大し、「心筋梗塞等の心血管疾患」とする

（4）糖尿病

➢ 発生予防・重症化予防に重点をおいた、地域における連携体制

（5）精神疾患

➢ 地域移行に伴う基盤整備

（6）がん、脳卒中、救急、周産期医療、へき地医療については、時点修正を行うなど適宜見直す

■ 認知症対策

➢ 現行の「精神疾患」から別立てで記載、充実

■ 地域包括ケア体制の構築

➢ 現行の「在宅医療の推進」に追加記載し充実

➢ 病床機能整備の推進を追加

[参考]

5 疾病：がん、脳卒中、心筋梗塞等心血管疾患、糖尿病、精神疾患

5 事業：救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療